

【現在の自動運転AI】

事前学習型AIであるため、リアルタイムの変化に対し「瞬時の最善判断と操作」を実行できない。また、倫理的な問題が生じた際に、なぜその操作を行ったのかという根拠も提示できない。→ 倫理問題については解決の目途が立っていない状況にある

【自己判断AI®によるアプローチ】

自己判断AI®は、物理的回避が不可能な極限状況において「怪我の程度の重み付けと被害最小化」という明確な基準を設けることができる

これにより「複数の倫理的に正しいとされる選択肢」が存在するにもかかわらず、そのどれを選んでも何らかの倫理的な問題が生じてしまう状況であっても、これを単なる板挟み(ジレンマ)としてではなく、与えられた状況下で最も望ましい結果を導き出すための最適化問題として捉え、その正当性を主張できる可能性がある

特に判断精度を事前に確認できれば、操作が偶然ではなく意図的／合理的であったことの強力な証拠となる（自己判断AI®の判断精度は高く事前検証も可能）

倫理的問題が完全に解消されるわけではないが → 「回避不能な状況下で被害最小化のための最善の操作を行った」という評価が、法廷を含む社会の場で支持され易くなるのではと考えている